

選択A：メディア表現

【時間・コマ数】

週2回、全64 コマ(1コマ50 分)

【クラス人数・クラス数】

6～10人、1～2 クラス

【到達目標】

- ・ 日本映画の重要な作品を知る。
- ・ 作品内の日本語の運用上の意味、含意を適切に、深く理解する。
- ・ 作品に含まれる言葉やその他の情報を細やかに受け止め、それを歴史・社会・映画史・他の表現媒体・その作品自体など多様な文脈の中に位置づけて捉え、言語化できるようになる。

【授業概要】

・ 日本の劇映画、ドキュメンタリー映画（一部アニメーション、演劇、写真）を見て、評論や論文などの関連文献を読む。一回目の授業で作品の内容理解を確認し、2回目の授業で関連文献を踏まえたより深い議論を行う。

【扱う対象】

小津安二郎、黒澤明、大島渚、黒沢清、濱口竜介、三宅唱、岨手由貴子、佐藤真、原一男、小森はるか、高畑勲、平田オリザ、岡田利規などの作品、及びそれらを巡る文献。